

NANIWA 56号

小森氏の子守りはもうこりごりだ。
個人的趣味には付き合ってもらえません。
怒鳴れば怒鳴るほど喜ばれては仕方ない

本日一日ストにて一斉行動

28日は西日本班の行動日程で、朝からOBPで朝ビラと宣伝行動を行ないました。総勢32名の仲間が集まってくれました。「判決が出た」といいながらビラを配ると、受け取りがものすごくよかったです。しかし、小森氏がしっかりと入り口でにらみをきかせていたので、当社に働く方たちはビラを受け取りにくかったと思います。

午前中は淀屋橋北支店前で宣伝行動と要請を行ないました。80名の仲間が集まり、大いに盛りあがりました。もちろん判決が出たと言うことで、会社に対して判決を守るように申し入れました。2府4県担当の小森氏が血相かいてやってきたことは言うまでもありません。私たちを応援する楽団の仲間が生演奏で御堂筋を盛り上げてくれ、労連の服部さんからは「本当によかった。これからも徹底的に闘うことだ」とあいさつをいただき、昼食休憩となりました。

第1回支店要請 13時30分から13時50分 原告全員で社内に入り、会社は3名で対応

組合「判決が出たので要請にきた。支店としての考えを聞きたい。判決でどちらが勝ったのか知っているはずだ。なぜ会議室を用意して要請を聞き入れないのか。こういう態度が私たちをバカにしているし差別している。もし、労組が会議室を貸してほしいと言えば貸さないのか。今回はきっちり回答して欲しい」

会社小森氏「私の判断で今度は人企にも聞いた。あくまでも個人の判断で会議室は貸さない。判決について事実は知っている。勝ち負けや控訴など本店が考えることだ。」

相変わらずの対応だったので、一旦要請を中断し、本店へ確認するよう申し入れる。しかし、小森氏は玄関の中でブラブラしているだけでした。

第2回支店要請 14時30分から15時00分まで

組合「回答をもらいたい。私たちは、こうしている間も、賃金がカットされている。人

生をかけてやっている。趣味でやっているのではない。」

会社小森氏「別にどこにも連絡していない。この対応は私の判断で行なっている。趣味でやっているとはっていない。やむをえず会社の方針として対応している。」

組合「もう一度再検討せよ」

会社小森氏「何度いわれてもこの対応は一緒だ」

以上、判決が下され、会社の私たちへの攻撃が断罪されたにもかかわらず、会社は私たちへの対応はまったく変えませんでした。だんだん泥沼にはいつているようですが、私たちの宣伝行動は、外で清々とピラを配り、シュプレヒコール、楽団演奏、リレートークをやり続けました。

第3回支店要請 15時15分から15時45分

組合「もっと会社としてまじめに対応して欲しい。同じ会社で働く者ではないか。私たちの要請をもっと真摯に受け取るべきだ」

会社小森氏「こうやってわざわざ対応させて頂いている。要請書も受け取り支店長にも本店にも伝えているが、コメントはもらえていない。別に指示されてやっているわけではない。

組合「わかった。中断する」

第4回支店要請 16時30分から17時00分

組合「回覧板持ってきたのとわけが違う。真摯にこの要請を受け取る姿勢を示すべきだ。裁判で会社の考え方が断罪されたことをもっと重く受け取るべきだ。こんな対応をして胸が痛まないのか。雇用や生活を破壊され、いじめられている私たちの姿に何も感じないのか。いじめられているものしか、そのつらさはわからない。(無言で傍観)社内で決めたことは絶対で、責任を個人として判断させ、指示は会社からだしている。不払い問題でもこういったふしが見え隠れする。今日はここで要請文を読むのでしっかりと聞き、本店また、支店長にしっかり伝えよ。次回は直接会社窓口に電話する。次回の要請では、もっと真摯に要請を受ける態勢と、会議室を用意して、短時間で要請が終わるように申し添える。要請の際、怒鳴られて喜んでいるのはあなただけだ。次回は同時に支店を回るつもりだ。あらかじめ伝えておく」

会社小森氏「要請書、確かに預かりました。本店、支店長へ伝える」

組合「今日配っていたピラも渡しておく。」

「要請書を受け取る対応」「会議室を使わせない対応」について、応対している小森氏にコメントできないようにしているこの会社の対応には本当に怒り心頭です。そして、人権を大切にする会社だと内外に宣言し、社員研修も徹底しているにもかかわらず、片方では

明らかな組合差別を行っています。こんな会社が「人権」「CSR」を語る資格があるのでしょうか？下された判決に素直に従わない会社が「法令順守」を経営方針に掲げる資格があるのでしょうか？目を疑いたくなる会社対応は続きますが、私たちは整齊とたたかいをすすめていきます。「判決に添わない会社なんて信用できない」など声をかけてくれた方もたくさんおり、世論はまちがいなく広がっています。

参加者のみなさんありがとうございました。座りこみも案外しんどかったかもわかりません。しかし、この2週間総行動をやり遂げることが今一番大切です。通りがかったときには1分でいいので、参加してください。あと、激励に、差し入れに、ありがとうございました。

さあしっかりと闘いぬきましょう。

一人はみんなのために みんなは一人のために

全損保日勤外勤支部大阪分会